

10

OCTOBER
2013
NO.50

マレーシアがもっと好きになる
ライフスタイルマガジン

セニョーム

Senyum

毎月5日発行
FREE



街歩きに便利な
「セニョ〜ムアプリ」公開中!

特集

マレーシアの若くて 元気な起業家たち

ハッピーアワーだ! ビールで乾杯!
キーンと冷えたうま〜いビールを、
お得に楽しもう!



Pacific Regency Hotel Suites
美しい眺めを楽しみながら、食事とお酒を堪能
Shanghai Acupuncture & Medicine Centre
季節の変わり目は「漢方茶」で体調を整える

Air Asia X のカトマンズ便で行く
ネパール de 世界遺産巡り
タウンガイド in ペナン



Bistro Den Den
「遊び心あふれる洋食」が自慢
D'Eralia
果物そのままの味のアイスクリーム店



▶▶ 特別コラム ◀◀

(1916-1995)

故 Tan Sri Loh Boon Siew

Boon Siew (文秀) グループ創業者

偉大なビジネスマンであり、かつ「ミスター・ホンダ」としても知られる、故タンスリ・ロー・ブンシュウ（以下、タンスリ・ロー）は、マレーシアでは若き起業家の先人の一人だ。以下、伝記本と文秀ホンダ関係者からのコメントを紹介しよう。



親族や知人などへのインタビューを入れたタンスリ・ローの伝記本『The Life and Times of A Fire Dragon』には、タンスリ・ローが13歳でベンチン渡ったときから、1957年にホンダ創業者故本田宗一郎氏と初会談したときのこと、1963年にオリエンタル・ホールディングスを設立し、4年後にはホンダ車の総販売代理権をとった経緯など事業家としての話のほか、息子として、あるいは夫、父親といったプライベートな側面についても語られている。

なかでも興味深かったのは、本田氏との第一回目交渉で「販売代理権を渡すには若すぎる」と断られた後のこと。その場で12台のバイクを購入しマレーシア国内で再販した。それらは瞬間に完売し、その後20台→50台→100台を注文し完売したという逸話だ。完売した裏には、「バイク1台100ドル払えない客には試乗後購入をよしとしたこと。そのかわり、近所をバイクで乗り回らせ、屋外での広告効果をたらせろ」という戦略があったという。

先見の明があり、仕事熱心で親分肌、人とのつながりを大切にするなど、本田氏との共通点も多かったため、本田氏とは事業を通じて生涯、交友を深めていったらしい。

文秀ホンダ関係者からのコメント

Dato' Sri Tan Hui Jing タンスリ・ローの孫（文秀ホンダ副会長/営業マーケティング担当役員）
いろいろなビジネスチャンスがあったにもかかわらず、立身のきっかけとなったHondaへの忠義を守り、他社の商品を扱おうとはしなかった。お客の身分に関係なく、分け隔てなく付き合いをする人だった。

Mr. Lok Kim Sun (パーツセンター)
とても仕事熱心で、会話の話題はいつも仕事のことだった。部下に仕事を任せると、あまり口出しせずに最後まで任せてくれた。社長だからと偉ぶることがなく、ビジネスの話なら誰とでも実務的に接してくれた。

Ms. Lily Ooi (財務)
中国出身の人らしく、100%中国スタイルの人。常に人に対して真摯で、信用を大事にする人だった。仕事第一だったが、従業員への心配り忘れることがなかった。規則や業界のルールを守って仕事を進め、人を騙すことも騙されることも嫌う人だった。

【協力・情報提供】
Boon Siew Honda Sdn. Bhd.
721, Persiaran Cassia Selatan 1, Kawasan Perindustrian Batu Kawan 14110 Simpang Ampat, Penang Tel: 04-506 3333
www.boonsiewhonda.com.my

▶▶ 潜入レポート ◀◀

人脈作りに欠かせない「ネットワーキング・イベント」

参加したのは、グーグルがサポートする「グーグル・ビジネス・グループ (GBG, 下記参照)」のイベント「Women Who Rock Online」。GBG・PJ地区代表のジュリアさん（写真）は自身も女性起業家であり、女性を応援したいと今回のイベントを企画したそう。女性起業家たちが登壇すると会場内は約100名の女性でいっぱい。まずは全員参加のゲームがスタート。一人一枚ずつ配られた紙には計25個のマスがあり、それぞれに「起業を考えている人」「グーグル+のアカウントを持っている人」「ペットを飼っている人」などとあ



質疑応答も活発で、活気も華もあるイベントでした

り、該当する人を探して名前を書き込み、ビンゴの方式で一番一つの行を埋めた人が優勝というルール。みなさん、すごい勢いで自己紹介を交わしてマスを埋めていました。その後、女性起業家が続々登場。キラキラしたオーラを放しながら、「いつもポジティブな友だちを選ぶべし」「トライ&エラー、試行錯誤の末に道は見つかる」「トライ&エラー、試行錯誤の末に道は見つかる」など、実体験とともに説得力ある教訓を披露。参加者の多くはSME（中小企業）のオーナーか、または起業の準備を進めている女性で、ビジネスについて話し出すともう止まりません！ 交流会って、人脈をつくれるだけでなく、いろんな刺激を受け、前向きになれる場所なんだと感じたセニョ〜ムでした。



GBGのPJ地区の代表ジュリアさんとタンスンさん。2人とも起業家でもある

人脈作りにオススメの交流会

グーグル・ビジネス・グループ
グーグルが主に発展途上国の中小企業のビジネスサポートを目的として行っている非営利活動。マレーシアには7つのGBGがあり、月1ペースでイベントを開催。
www.google.com/landing/gbg/

ARFF (アセアン・リテール・チェーンズ & フランチャイズ・フェデレーション)
アセアン諸国+日本、韓国、インド、オセアニア内で事業をする小売、飲食、旅行業などの会員制の異業種交流会。
www.arff.org.my

BNI Malaysia
ビジネス異業種交流会として、世界的なネットワークのある組織BNIのマレーシア支部。会員組織。経営者だけでなく、サラリーマンでも参加可。
http://bnimalaysia.com/

釣りが趣味のビジネスマン 趣味を活かして起業

Lmut Grouper Seafood 代表

ジェフ・ニューさん (40歳)

昨年、魚にまつわるジェフさんの熱意と知識の豊富さがかわれ、魚の養殖を副業として手がけることになった。マレーシアでも人気の高級魚「龍虎斑」、臭みがなく引き締まった肉厚な身が人気のハタの一種だ。まずは養殖プールを50から100に増やした。2000匹もの稚魚を1区画に放ち、3ヵ月後、成長に合わせていくつかの区画に分ける。生後8ヵ月、1kgに成長した頃が売り時だ。成長の過程で死んでしまったり、委託先の従業員がこっそり売ってしまったりと数は減り、出荷時は1500匹以下になってしまう。パートナー達と交代で、週末は必ず当地に足を運び、飼育状況、体調、そこで働く人々を管理することも重要な任務だ。近海で採れる天然の餌を与え、できるだけ自然界に近い状態で養殖するというのがジェフさんのこだわり。現在は代表管理者兼出資者として貢献するが「将来的には自身の養殖場を作り、それを本業として生計を立ててゆきたい」と、ジェフさんは熱く語る。

Lmut Grouper Seafood
No.158, Tmn Aman Muhibah 3, Setiawan, 32000 Perak.
012-206 6968



パンコン島に近い漁村Pancongにある養殖場

新感覚の結婚写真スタジオ から飲食業界の風雲児へ

Attanggo (M) Sdn. Bhd. 代表

パメラ・ジャンさん (43歳)

1997年、結婚写真スタジオ「Covershots」を立ち上げる。当時はど派手な衣装とメイクアップが主流だったが、同店は白を貴重としたシンプルなウェディングガウンと自然体で美しい写真の仕上がり話題となり、他の写真家に大きな影響を与えた。2010年、日本留学を経験し日本文化をこよなく愛する旧友2名と「Kissaten」、ローカルフードをお洒落に楽しめる「Lammeeya」をオープン。今年に入り、「Covershots」オーナーを退任。先述の2名と共同で「Attanggo」を設立し、飲食業界に参入した。今年ユニークな火鍋店「Xiao Lao Wang Hotpot」、日本の居酒屋がコンセプトの「Bangoya」をオープン。流行に敏感なマレーシア人をターゲットにアイデア豊富な3人が展開するお店はいつも活気に満ち溢れている。マレーシアの飲食業界に新風を吹き込む、パメラさんの今後に期待したい。

Attanggo (M) Sdn. Bhd.
D-1-9, No 2, Jalan PUJ 1A/41B, Pusat Dagangan NZX, Ara Jaya, 47301 PJ
03-7886 5574



日本の居酒屋風をコンセプトにした「Bangoya」(Jaya One)

「サッポロビール「プレミアム」市場が成熟した今だから売れる！」
サッポロビール「プレミアム」
「Am」をはじめとした
外国産アルコール
ランドの輸入卸を手がける
ヤップさんを訪ねた。オフィス
はK.L.・プジョンの工業地帯。社屋の
真ん前には、「サッポロビール」ロゴ
付きのボルシエが横付けされている。ヤップさんの愛車だ。
早速「プレミアム」に目を付けた理由を聞くと、「以前はアルコール度が高ければいいと

Azio Wines & Spirits Sdn. Bhd. 代表
アブリー・ヤップさん (38歳)

www.sapporobeer.com.my

採用された印刷所で働き始めたときの給料は月280リンギ。間もなくオペレーターまで昇格したものの、右手の肘から下をなくすアクシデントに遭う。
「正直、どうして自分だけが...という気持ちが強かった。でも悩んでも仕方がない。与えられた人生にチャレンジしなければ」と、退院後は貯めたお金でサンウェイイカレッジに入り、ビジネスマーケティングを専攻。卒業後は外国産タバコ会社に就職しマーケティングを担当。その後、ランカウイで免税品ビジネスをする今のパートナーと出会い、共同でアルコール飲料の輸入卸業をスタートした。

日本の行列ができる店を真似た 小さなおにぎり専門店

Niko Niko Onigiri 社長

マイク・チンさん (37歳)

昨年3月にスリ・プタリンにオープンしたおにぎり店が好調だ。店主は中国系のマイクさん。調理師免許を日本で取得し、日本の飲食業や日系企業に勤務した経験を活かし、おにぎり店を起業。2店舗からスタートし、その後フランチャイズ化。現在9店舗と順調に規模を拡大している。おにぎりは1個2リンギ50センより。「値段の安さとも珍しさですね。日本のレシピに忠実なものもあれば、ローカルにうける具材も用意しています」とマイクさん。テーブル席は3つほどで、あとはカウンター席という小さな店だ。「日本の行列ができる店をマネしてみたいです。客が多い日こそわざと早めに店を閉めちゃいます。すると『あそこはすぐ売り切れちゃう！』って噂が瞬く間に広がってお客が増えた。とはいえ気は抜いていない。成功の秘訣は「日本食ブームは今がピーク。新しく珍しく、安く受け入れられやすいものを作り続けることが大切」だそうだ。

Niko Niko Onigiri
No 67, Jalan Radin Tengah, Bandar Baru, Sri Petaling, 57000 KL
www.facebook.com/NikoNikoOnigiriSriPetaling



スリ・プタリン本店。朝昼晩のご飯ときには小さな店が満席になる

銀行員から転身。古い家屋を解体して家具作り

AGRO Mac 代表

アレン・リンさん (41歳)

サバ州出身のリンさんは「古き良きもの」が価値を生むことにいち早く目をつけた。古い家屋を無料で解体する代わりに解体後に出る古材をもらい、その古材で家具を作り販売する。「最初に手掛けたのはキナバル山麓にあった銅鉱山。40年前まで日系企業が所有していた鉱山です。400ヘクタールの敷地内に放置状態の家が176件。(高利貸しから借りた)100万リンギで家屋を購入し、うち100件を販売、残り76件を解体して、出てきた古材 (200トン以上) で家具を作り売りました」。解体後は古材ほか、メタルや発電機などの宝物もわんさか出てきた。家具は種類や大きさにもよるが1,800リンギから販売し、瞬間に完売。借りた100万リンギは3ヵ月で返却。最近、父親と一緒に訪れた宇都宮市で中古の耕運機やフォークリフトを見つけ、これは商売になる！と、輸入販売を開始。機を逃さず即行動するのがリンさんが成功したキーポイントのようだ。

AGRO Mac
#8, Lot 84, Taman Kim Leng, 88300 Kota Kinabalu, Sabah 017-818 0060
Facebook.com/firmkeningau



今ではなかなか手に入らない頑強な木材Kapurの古材で作った家具

オンライン子ども用品店のバイオニア

LittleWhiz.com 代表

レイシャル・ホーさん (37歳)
ルイス・タンさん (38歳)

きっかけは、海外に移住する友人に「子ども用品のオンラインショップを買わないか？」と打診されたこと。会社員としての将来に疑問を感じていたレイシャルさんは「やってみよう！」と長年の友人ルイスさん(現夫)と資金を集め、店一式を買取ったのが2005年。当時オンラインショッピングはまだマイナーな存在で、顧客や卸の信用を得るのは大変だったが、2008年頃にはネットインフラが普及し、実店舗も構えたことで信用も得やすくなった。結婚し、3人の子どもに恵まれ、商品理解も深まった。スタート時には100程度だった商品数は現在約2500。妊婦用のブラからベビーカーまで多数のブランド、知識豊富なスタッフが揃い、商品を比較して説明を聞いたうえで購入できると口コミで顧客が増えている。「会社員だったときより忙しいけど、子どもと過ごす時間もやりくりして作れる。後悔したことはない」と二人は語る。成功の秘訣は「常にポジティブであること」。

LittleWhiz marketing Sdn. Bhd.
2-2-1 Jalan Setia Prima(B) U13/B, Seksyen U13 Setia Alam, 40170 Shah Alam
www.littlewhiz.com/



妊婦と出産に必要なものはすべてそろった「ワンストップショップ」というだけあって品揃えは充実



バブリアで開催された盆踊り大会にもスポンサーとして出席

いう趣向が強かったが、最近では味そのものを楽しむ人たちが増えてきました。だから、日本の老舗ビールメーカー・サッポロビールが出す「プレミアム」も受け入れられるに違いないと思っただけです。2010年にサッポロビール本社を訪問し、交渉をスタート。翌11年3月、輸入代理店として契約を交わした。

「ちょうど東日本大震災の1週間後です。『大丈夫か?』という声も社内から出ましたが、迷うことなく日本へ飛びました。ホテルや日本食レストランを中心に販売を開始。当初は3ヵ月で1コンテナ分のビールしか売れなかったが、今では1ヵ月で2〜3コンテナ分のビールが売れるほどに。ヤップさんの信条は「困難なときでも決して諦めない。必ず解決策がある」。生まれた直後に両親が離婚。父親に連れられて故郷のクアラカンサー(ペラ州)へ行ったものの、7歳のときに父親を亡くした。17歳まで新聞配達をしながら親戚の家で過ごし、高校卒業後はK.L.へ採用された印刷所で働き始めたときの給料は月280リンギ。間もなくオペレーターまで昇格したものの、右手の肘から下をなくすアクシデントに遭う。「正直、どうして自分だけが...という気持ちが強かった。でも悩んでも仕方がない。与えられた人生にチャレンジしなければ」と、退院後は貯めたお金でサンウェイイカレッジに入り、ビジネスマーケティングを専攻。卒業後は外国産タバコ会社に就職しマーケティングを担当。その後、ランカウイで免税品ビジネスをする今のパートナーと出会い、共同でアルコール飲料の輸入卸業をスタートした。